

# ことばの発達に課題のある子の理解と支援 ①

きこえとことばの教室で、ことばの発達に課題があるとは、全体の発達はおおむね年齢相応の育ちをしていても、ことばの発達だけが遅く、理解したり表現したりすることが難しい子どもたちのことを言います。

## ことばの発達に課題のある子どもには、次のような特徴があります。

- 知っていることばの数が少ない。
- 話したいことがあってもうまく表現できない。
- 気持ちをうまく表現できない。
- 場に応じた適切な表現が難しい。
- 指示を理解できない。
- 読み書きの間違が多い。

ことばを理解したり使ったりする力は、様々な側面の発達によって支えられています。ことばを模倣する力、ことばを聞いて理解する力、考えたことをことばで表現する力などの育ちが大切です。

## 在籍学級では、次のような支援(対応や配慮)をお願いします。

### 1. 話す意欲を高めましょう。

- 先生と楽しんで話す雰囲気作りをお願いします。
- 子どもの話に耳を傾け、分からないところを聞き直すより、分かったところにことばを返します。そうすることで、「伝わったんだ」と子どもは安心します。
- たくさんの経験と結び付けて話しかけます。
- 読み聞かせも、ことばを豊かにします。
- 朝の会や帰りの会の際の発表も、子どもによっては効果的です。
- 話した内容を受け止め、認めてやることで、自信をもたせます。

### 2. わかりやすく話しかけましょう。

- その子が理解しやすいように話題を伝え、わかりやすいことばで話しかけます。ゆっくり話しかけたり、文を短くして一度に伝える内容を少なくしたりします。
- 身振りを交えて話しかけると理解しやすい子どももいます。
- 絵や文字などの視覚的な手がかりもことばの理解を助けます。

### 3. 学級集団の中にとけこめるようにご配慮ください。

- 友達とかかわり合って、楽しく遊べることは、ことばを育てるのに役立ちます。
- 幼い話し方やことばの使い方の誤りについて、本人が恥ずかしい思いをしたり、からかわれたりしないように、「誰にでも苦手なことがある」「苦手なことを頑張っている」「得意なことや頑張りを認めること」などが大切です。
- クラスの子どもたちに「いってらっしゃい」「おかえり」と声をかけられると、安心して通級ができるようです。

